

三菱統合ビルセキュリティシステム “MELSAFETY-S30”機能拡充

中村篤俊*
栗山美樹*

Mitsubishi Building Security System “MELSAFETY-S30” Extension Services

Atsutoshi Nakamura, Miki Kuriyama

要 旨

自社ビル・複合ビルなど建築の用途を問わず、近年、ビル内におけるセキュリティシステムや出入管理システムは急速に注目を集めており、ビルの安全運用を行うために必要なシステムとして導入が増加している。

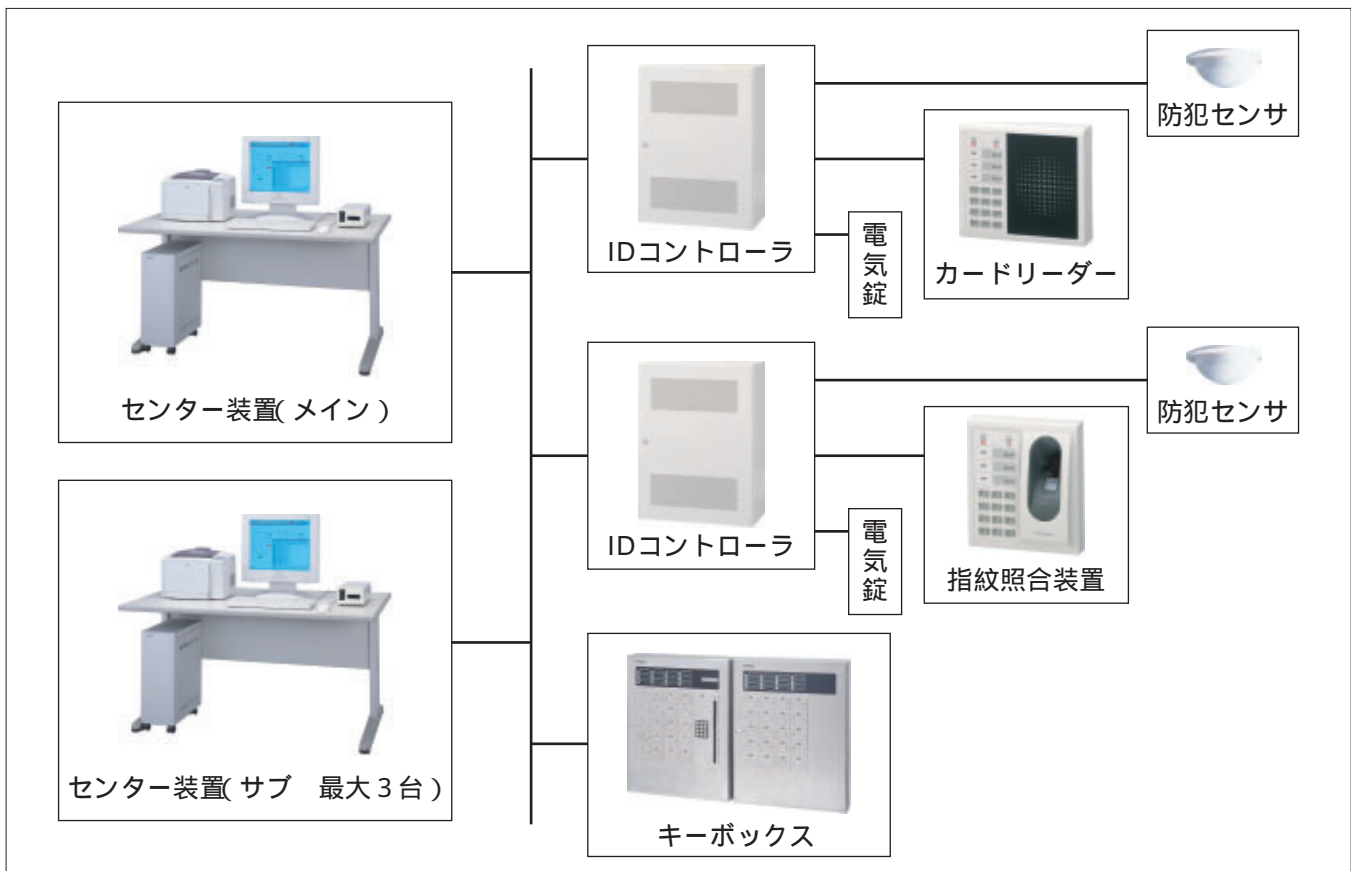
このような背景の中、三菱電機は、セキュリティシステム製品“MELSAFETYシリーズ”を、テナントビルを中心とし、数多くの導入実績を積み重ねている。

本稿では、ビル内セキュリティシステムとビル管理システム機能を統合し2001年に市場投入を行っている統合ビル

セキュリティシステムの、MELSAFETY-S30の機能拡充について述べる。

MELSAFETY-S30の機能拡充のポイントは次のとおりである。

- ユーザーインターフェースの改善
- 周辺機器の新規投入
- ユーザーデータの容量拡張
- ユーザー支援ツールの充実
- 保守/SE用ツールの充実



統合ビルセキュリティシステムMELSAFETY-Sシリーズのシステム構成例

入退室、設備、情報のトータル管理を特長とする。さらに、ネットワークへの対応、設備統合機能やセキュリティアプリケーションの充実により、ビル全体の効率運用や、多様化するシステム運用用途にも柔軟に対応するシステムへと発展させることが可能となる。